

中村先生が私たちに教えてくださった3つのこと

1. 正しい発音で歌う
2. 笑顔で歌う
3. 歌詞の意味を理解して歌う





## ～はじめに～

お世話になった中村先生に何か残したくて、私達はこの「中村語録」を作ることを思い立ちました。

先生のお言葉や教え、エピソードを残したいと思ったのです。

私は約 10 年前にインドネシアでラグラグ会に入るまで、人生において音楽や歌にほとんど縁がありませんでした。もちろん楽譜など読めません。その私の生活に「音楽のある潤い」と「歌うことで得られる高揚感と楽しさ」を与えてくださったのはラグラグ会と中村征夫先生でした。今では時々私の頭の中をラグラグ会会員の方が練習で歌われる唄が駆け巡ります。何故かいつもひとりでは無い感覚があります。気持ちが落ち込みそうな時は支えてくれると実感します。そして「水曜のあの時間になればみんなに会える」と思い出させてくれます。

2011 年 3 月初旬、私は和氣太司さんに誘われて初めてラグラグ会の練習を見学に行きました。確か石居日出雄さんの卒業式当日(2011/3/02)<sup>1</sup>かその前の週だったと思います。

そこで見た中村先生のハキハキした声で喋り、表情豊かに身振り手振りを交えた切れ味鋭い教え方に一瞬で虜(とりこ)になり、もともと誘って頂いたので(仕方なく?)見学に行っただけで、そもそも歌を唄うつもりも習うつもりもないのに直ぐに入会してしまいました。そしてその後勝手に盛り上がって、こともあろうに中村先生の個人レッスンまで受講させて頂くことになりました。いわゆる「中村教室」です。そこで中村先生は「(練習を積めば)誰でも立派に人前で唄えるようになる」と教えて下さいました。が、それでも正直「こんな私でも本当に人前で唄うことができるようになるのだろうか」と思っていました。

私は今でも人前で歌を唄うのは恥ずかしいです。主な理由は練習不足です。基本的に毎日仕事に没頭していますので歌の自主練習などほぼ出来ずに先生の前で唄いました。毎回その練習不足が一発で分かっしまい「(教えたことを)なんにも覚えていないね」と怒られるわけです。

---

<sup>1</sup> 編者追加

しかし、先生は練習に出席する生徒を見捨てることはありませんでした。ほぼ誰に対しても「気合いの足りなさ」を指摘しながらも、毎回何らかの気づきを得られるよう教えていただきました。

実際、先生が毎回「暗唱して楽譜を見ないで前をみて」「歌の意味をしっかりと理解して」と指示されていたにも関わらず、それが十分できない状態でステージに立つこともありました。そのような決して充分とは言えない状態にも関わらず、それが斉唱でも独唱でも1曲1曲歌い終わると聴衆から温かい拍手を頂けました。先生の教えてくださったことを少しでも思い出し守ろうと思いながら唄うだけで、大きな拍手を頂くことができるのです。そしていつもステージの私達も聴衆の方々も嬉しい顔をしてその時間を終えることができました。私はこの10年間そのようなラグラグ会を見てきました。あれは「中村マジック」だったと思います。

そして昨年(2020年)11月28日、享年82歳で中村先生は他界されました。

中村先生がラグラグ会に入会された30年前、先生は「正しい発音で唄う」ことを目標としているラグラグ会に惚れて入会されたとおっしゃっていました。ラグラグ会の「正しい発音で唄う」と、先生がそれまで世界中の歌手活動の経験で学ばれた「現地の人に通じる言葉で唄う」ところが先生の中で重なったようです。

1977年に誕生し「正しい発音と文化を学ぶ」ことを念頭にインドネシアの歌を専門に学び続けるグループ、それが「ラグラグ会」です。そして「ラグラグ会」を30年の長期に亘り支えてきてくださった中村先生。その先生が私達に教えてくださった時の言葉を1冊の冊子にまとめたもの、それがこの「中村語録」です。これを読むと、その時の先生のひとことひとことや手振り身振りが思い出されると思います。それをラグラグ会の全員と、中村先生、および先生がずっと心の中で大切にされてきたご家族の皆様、最大の敬意と感謝の念を持って捧げたいと思います。

それでは「中村語録」開演致します。どうぞよろしく御願い致します。

ラグラグ会中村語録編集チーム 近藤英文

## ～中村征夫先生のご指導とエピソード～

中村先生が私たちに教えてくださった3つのこと.....	1
はじめに (近藤英文).....	3

## 目次

1. インドネシア語の発音 (郡 稔).....	11
2. “艶”が出るまで1000回歌う (郡 稔).....	11
3. ステージで大切なこと (郡 稔).....	11
4. 音楽への真摯な姿勢 (郡 稔).....	12
5. ジャムウ売りの気持ち・楽曲「Suwe Ora Jamu」 (石川礼子).....	12
6. あなた、ジャワなまりね (メリー・オクタビア).....	12
7. 立って歌う・沢亜希子さんへのご指導に際して (近藤英文).....	13
8. 歌がピョンピョン跳ねてるわよ・楽曲「Juwita Malam」 (小川和美).....	13
9. 悲しい歌でも笑顔で (宮川麻里子).....	13
10. 写真は女性の隣で (宮川麻里子).....	14
11. ショックと思いきや…実は愛楽曲「Aku Makin Cinta」・(遠藤のり子).....	14
12. 知性をこめて 遠藤のり子さんへのご指導に際して 楽曲「Burung Camar」 (近藤英文).....	14
13. 先生のコメントいろいろ (近藤英文).....	15
14. 昔のバンドのメンバー(近藤英文).....	15
15. 歌のこころを知ってください・和氣太司さんへのご指導に際して 楽曲「Perangi matamu」 (近藤英文).....	15

16. 表現をしっかり・沢亜希子さんへのご指導・楽曲「Tiada lagi」「Cintaku」・(近藤英文).....	15
17. 表現と想像力・大田美紀さんへのご指導に際して 楽曲「Juwita Malam」 「Setia」・(近藤英文).....	15
18. 奥様を前に出して・ロビーさんへのご指導に際し (近藤英文).....	16
19. 潮風を感じる・伊藤加奈さんへのご指導に際して (近藤英文).....	16
20. 歯切れよく・和氣太司さんへのご指導に際して (近藤英文) .....	16
21. お客さんがいることを想像して・山本千明さんへのご指導に際して 楽曲「Anju Au」・(近藤英文).....	16
22. 楽譜は読めなくても OK (近藤英文).....	16
23. ステージでは (近藤英文).....	17
24. 先生が褒める時 (近藤英文).....	17
25. あなたの歌を歌いなさい・楽曲「Juwita Malam」 (須永紫).....	17
26. ソロライブへの後押し (須永紫).....	18
27. 最高のお守りのような言葉 (須永紫).....	19
28. バタック族の歌「Butet」・楽曲「Butet」 (小川和美).....	19
29. 伴奏について (鎌田慶昭).....	20
30. ボイストレーニング① (鎌田慶昭).....	20
31. ボイストレーニング② (鎌田慶昭).....	20
32. もっと下品に・楽曲「Tidak Semua Laki-lali」(Dangdut/ダンドウト)・(鎌田慶昭) .....	20
33. やればやるほど悪くなる(笑)・楽曲「Tanah Airku」(鎌田慶昭).....	20
34. ずいぶんクオリティが落ちたね・楽曲「Nasonang Do Hita Nadua」・(鎌田慶昭) .....	21
35. それがポップの歌い方だ・(鎌田慶昭).....	21

36.	先生のコメントいろいろ (石川礼子).....	21
37.	“Air”の発音① (小川和美).....	21
38.	マイクを舐める感覚で色気を・楽曲「Cinta」(小川和美).....	22
39.	先生の辛口指導楽曲「Senandung Rindu」「Sakit Gigi」(Dangdut/ダンドウツ) (和氣太司).....	22
40.	聞いているひとを意識して・楽曲「Waktu Hujan Sore Sore」(和氣太司).....	22
41.	先生が嫌いな歌い方 (近藤英文).....	23
42.	私に合う歌・楽曲「Tenda Biru」(小川和美).....	23
43.	もっと叫べ!・楽曲「Benci tapi Rindu」 (鎌田慶昭).....	23
44.	小むずかしい曲・楽曲「Keabadian」 (郡 稔).....	23
45.	喉の調子を即座に把握 (郡 稔).....	23
46.	優しいご心配 (郡 稔).....	24
47.	江利チエミについて (郡 稔).....	24
48.	ステージに向けて (郡 稔)投稿者:郡 稔.....	24
49.	先生との出会い 楽曲「Widuri」「Sio Mama」(竹内ロビー).....	24
50.	“Air”の発音②・楽曲「Keroncong Tanah Airku」(小川和美).....	25
51.	歌詞を暗記して (近藤英文).....	25
52.	まずは音程通りに歌えること (近藤英文).....	26
53.	演歌調に歌わない (近藤英文).....	26
54.	先生の天才的閃き演出・楽曲「Nina Bobo」「Sarinande」(鎌田慶昭).....	26
55.	語尾の発音・楽曲「Tanah Airku」・(伊藤加奈).....	27
56.	“kita”の歌い方①・楽曲「Satu Nusa Satu Bangsa」・(伊藤加奈).....	27
57.	“kita”の歌い方②楽曲「Satu Nusa Satu Bangsa」(小川和美).....	28
58.	相手に話しかけるように (近藤英文).....	28

59. 悲しい歌も明るく歌う・(伊藤加奈).....	28
60. Zoom レッスンでの思い出・サビの歌い方 (沢亜希子).....	28
61. 輪唱のアレンジ・楽曲「Sio Mama」(小川和美).....	29
62. いきなりのアレンジ (沢亜希子).....	29
63. 先生の好きな食べ物 (沢亜希子).....	29
64. 先生の散骨①・楽曲「Satu Nusa Satu Bangsa」 (近藤英文).....	29
65. 先生の散骨② 楽曲「Satu Nusa Satu Bangsa」(石川礼子).....	30
66. 先生のご遺品 (近藤英文).....	30
67. じゃかるた新聞 2002 年 6 月 12 日版 “ダンドゥット歌う中村征夫さん「心が伝 わる歌を」”より①(石川礼子).....	31
68. じゃかるた新聞 2002 年 6 月 12 日版 “ダンドゥット歌う中村征夫さん「心が伝 わる歌を」”より②(石川礼子).....	31
69. 思い込みが激しいからなあ (田口 重久).....	32

## あとがき

沢亜希子 .....	33
伊藤加奈 .....	34
中村先生のお手紙.....	36
Mr. Kus Swadie (クス・スワディさん) へのインタビュー(メリー・オクタビア).....	38
写真アルバム .....	43

## 投稿者と会員番号

投稿者氏名	会員番号	投稿番号
郡 稔	865	1～4, 44～48
石川礼子	867	5, 36, 65, 67, 68
Merry Oktavia	858	6
近藤英文	805	7, 12～24, 41, 51～53, 58, 64, 66
小川 和美	802	8, 28, 37, 38, 42, 50, 57
宮川 麻里子	860	9 & 10
遠藤 のり子	850	11
須永 紫	841	25, 26 & 27
鎌田慶昭	604	29～35, 43, 54
和氣太司	800	39, 40
竹内 ロビー	772	49
伊藤加奈	868	55, 56, 59
沢亜希子	859	62, 63
田口 重久	24	69



## ～中村征夫先生のご指導とエピソード～

### 1. インドネシア語の発音（投稿者：郡 稔）

- ・U の発音は英語の W の様に。
- ・語尾の 't' や 'h' は聞こえなくとも発音すること。
- ・N は英語の N に近い。（舌が上顎に着く）
- ・'tiup' を英語読みの 'up' と混同しない様に。tiyap に近い。
- ・'Melati dari Jayagiri' では最初の歌い出しで 'e' の発音を間違えて、「ハイ、ダメー！」。
- ・'Melati dari Jayagiri' の中の 'keindahan' は 'h' をしっかり発音する。
- ・'Air' の 'l' をはっきりと発音する様に。

### 2. “艶”が出るまで1000回歌う（投稿者：郡 稔）

- ・歌でなければ伝わらない表現。
- ・飽きるほど歌ってからがスタート。'艶' が出るまで1000回歌う？
- ・(Kasih Putih について)「語り」の部分と「歌」の部分でメリハリを付ける。
- ・リズムの一貫性。'Melati dari Jayagiri' の後半で「リズムがズッコケタ」と先生はおっしゃいました。歌詞のアクセントがうまくリズムに乗っていなかったと思いました。
- ・音域を超える高いところは実際の声は小さくとも流れの中で声が聞こえる様に表現する。
- ・歌う場所、時によってよく聞こえるキーは違うものである。

### 3. ステージで大切なこと（投稿者：郡 稔）

- ・笑顔
- ・最初のフレーズでお客様を引きつけられる様に。

・舞台衣装

・必ずモニタースピーカーを歌手とキーボードに用意する。

(2019年のパーティーでは最初ピアノも客席向けの PA に繋いでしまったのですが、先生のご指摘で、ピアノ専用のスピーカーをピアノの後方に置いて対処していました)

4. 音楽への真摯な姿勢 (投稿者: 郡 稔)

ラグラグ会の楽譜をジャカルタの部屋に置いたままで、そこにはまだ今回思い出せなかったメモがあるかと思いますが、案外今ここに思い出せたことが私にとって大事なことだったのかもしれませんが。中村先生からは音楽に対して真摯に取り組む姿勢そのものに感銘を受け、そのことが私にとって一番大切なものだと思います。

5. ジャムウ売りの気持ち・楽曲/Lagu「Suwe Ora Jamu」(投稿者: 石川 礼子)

“Suwe Ora Jamu”という、ジャムウ(伝統ハーブドリンク)売りの歌を初めて歌った時、先生は「あなたねえ、そんな歌い方じゃ、ジャムウ売りじゃなくて、まるで密造酒売りだよお。一度、ジャムウ売りの籠を担いで歌ってごらんなさい。そうすれば、ジャムウ売りの気持ちが分かるよ」と、言われました。

6. あなた、ジャワなまりね (投稿者: Merry Oktavia)

★あなた、ジャワなまりね。

★伴奏を合わせて、歌いなさい。

★おじいちゃんの指揮を見て、歌ってね。

★口を開けて、発音をしっかり言ってね。

例えば:

B e nda と B u nda、

Tana h A i r

Ci n ta

Ki ta

7. 立って歌う 沢亜希子さんへのご指導に際して (投稿者:近藤英文)

先生はアッコちゃんに「立って歌う」ことを勧めていましたね。

あの威力は大きかったです。

アッコちゃんの歌に迫力が出ましたね。

そもそも先生はアッコちゃんの歌に「力強い迫力」を付けようとしていましたね。

おそらくアッコちゃんが優しい雰囲気です。歌う事はもう出来ていたので、聴き手の記憶に残るように、後は本来持っている迫力だ、と想っていた節がありますね。

アッコちゃんの歌に笑顔と適切な迫力が加わると、聞き手は感動しますね。私は感動しました。

8. 歌がピョンピョン跳ねてるわよ・楽曲/Lagu「Juwita Malam」(投稿者:小川和美)

少しづつ思い出しますが、1. Juwita Malam を教えていただいた時の中村先生の一言 「あなたの歌い方、品がないわよ。歌がピョンピョン跳ねてるわよ。もう少し大人の女性らしく歌ってちょうだい。」

9. 悲しい歌でも笑顔で (投稿者:宮川 麻里子)

先生のご指導で心に残っているのは悲しい歌でも笑顔で歌うということです。笑顔というか微笑むというのでしょうか。理解できていなかったのが解釈を間違えてるかもしれませんが。どなたか同じようなことをご指摘された方いらっしゃいますか?? 😊ととにかくお客様を楽しませることなのかなと自分を納得させました。

10. 写真は女性の隣で(投稿者:宮川 麻里子)

お写真を撮るときは絶対男の人のお隣は嫌だ!と仰っていたことも思い出しました😊

先日の送別会で知りましたがケチャップマニスもあまりお好きではなさそうでした。甘すぎるのがお嫌なようです。

11. ショックと思いきや…実は愛・楽曲/Lagu「Aku Makin Cinta」(投稿者:遠藤のり子)

先生のコメントは正直で的を得た独特な言い回しだったと思います。Aku makin cinta の練習を始めた頃、高音が出なくて無理に歌っていたとき、「まるで豚が泣いているみたいだなあ」と言われてショックを受けました。次週から違う歌に替えようとも思いましたが、先生はそのまま練習を続けるようにとのコメントでした。出ない高音は聞こえるか聞こえないかの小さい声で歌ってごまかせばいいと次週にアドバイスを下さりました。フェリタさんにもキーを下げるように言ってくださったり、何度も練習につきあってくくださったのを覚えています。コメントは厳しいけど指導は親身で優しいお気持ち伝わってきました。本番の発表会では歌詞を忘れるという失態でしたが、先生は「笑顔だったしすごくいい雰囲気だったよ」とご機嫌な感じで言ってくださいました。一番の思い出は色々な意味で Aku makin cinta です。それから先生は練習曲の歌詞を早く覚えるようにおっしゃってましたので、なるべく覚えるようにしました。まだ思い出はありますが、まずはここまでとします❤️

豚の下りははっきり覚えてなくて、豚の金切り声か豚のおたけび?だったかもしれません。

12. 知性をこめて・遠藤のり子さんへのご指導に際して 楽曲「Burung Camar」(投稿者:近藤 英文)

確か、ノリコさんの Burung camar を教えていらっしゃる時に「知性のこもった歌

を歌ってください」とおっしゃっていました。

13. 先生のコメントいろいろ（投稿者：近藤 英文）

中村語録「ラグラグ会は(ステージに出るのに)5 人もいれば充分です」「本番出る人は練習にも出てください」「ちゃんと練習出て、練習して、そして自由に人前で歌って来てください」「下向いて歌っていないで、ちゃんとおじいさん(先生)を見て歌ってください」

14. 昔のバンドのメンバー（投稿者：近藤 英文）

「(昔の中村バンドのメンバーはクスさんを除いて)みんな死んじゃった」

15. 歌のころを知ってください・和氣太司さんへのご指導に際して 楽曲「Perangi matamu」（投稿者：近藤 英文）

昔、和氣さんが Perangi di matamu を教えて頂いていた時と思いますが「歌のころを知ってください」とおっしゃっていました。

16. 表現をしっかりと・沢亜希子さんへのご指導 楽曲「Tiada lagi」「Cintaku」（投稿者：近藤 英文）

アッコちゃんが Tiada lagi か Cintaku を教えて頂いていた時に「気取ってられない。表現をしっかりと」とおっしゃっていました。

17. 表現と想像力・大田美紀さんへのご指導に際して 楽曲「Juwita Malam」「Setia」（投稿者：近藤 英文）

大田さんが Juwita malam か Setia を教えて頂いていた時に「表現、歌に対する想像力が足りない」とおっしゃっていました。

18. 奥様を前に出して・ロビーさんへのご指導に際して（投稿者：近藤 英文）

ロビーさんが奥様と一緒に練習された時に「奥様を前に出してください」とおっしゃっていました。

19. 潮風を感じる・伊藤加奈さんへのご指導に際して（投稿者：近藤 英文）

カナさんを教えていらっしゃる時にカナさんの歌を聴いて「潮風を感じる」とおっしゃっていました。

20. 歯切れよく・和氣太司さんへのご指導に際して（投稿者：近藤 英文）

和氣さんの歌を聴いて「もっと歯切れよく歌ってください」と言っていました。

21. お客さんがいることを想像して・山本千明さんへのご指導に際して 楽曲「Anju Au」（投稿者：近藤 英文）

千明さんが Anju au を教えて頂いている時に「そこにお客さんがいっぱいいる事を想像して」

22. 楽譜は読めなくても OK（投稿者：近藤 英文）

「ラグラグ会には楽譜が読めない人がいっぱいいます。そもそもインドネシアには楽譜が無い曲もいっぱいあります。だから私は皆さんに『口移し』で歌を教えています」

と、いつもキツパリと言われました。

私はこの件で絶対先生に反論はしませんでした。が、私の頭の中ではいつも「それ、口移しじゃなくて、『口伝え(口伝)』のことじゃ無い、、?」と思っていました。少なくとも先生からの口移しはちょっとカンベン、、」と思っていました、、。

その場で先生にお話ししても、またすぐ忘れちゃうかな、なんて思ってその場その場でいつもキチンとご説明できなくて御免なさい！！（私のザンゲになってし

まいました、)

※ 先生は時々しゃべる時の単語がおかしいです。

本当は「私は皆さんに口伝え(口伝)で歌を教えています」と言いたかったと思います。

先生はこれをおっしゃるのは 1 回や 2 回では無かったので私だけでは無く多くの方が「先生の口移しはちょっと、」と思ったと思います。

上の言葉は、「音符が読めなくて OK」を説明する時にお話しされた言葉です。

23. ステージでは… (投稿者:近藤 英文)

「お客様を喜ばせなくちゃ」

24. 先生が褒める時 (投稿者:近藤 英文)

先生が褒められる時は決まって、皆さんがこころを込めて歌われた時ですね。

25. あなたの歌を歌いなさい 楽曲/Lagu「Juwita Malam」 (投稿者:須永 紫)

ジャズにシャンソン クラシック ブルース ラップ…色々な先生に師事してきましたが 中村先生からの教えは、他のどの先生とも比べものにならない程強く心に残っています。

友人と二人でラグラグ会にお試し入会したものの、その友人は先生の厳しさに恐れをなして離脱。

先輩の皆さんたちのインドネシア愛、ラグラグインドネシア愛に励まされ、ラグラグ会に残りました。

発音のご指導の厳しさもさることながら、歌への態度を特に正されました。

Juwita Malam を自宅で何回も練習してから迎えた水曜日夜のラグラグ会。すこし調子に乗って自己陶醉して歌っちゃってたのかしら？ 先生はすかさず

「あなた 誰の歌を聴いてきたの？あなたの歌を歌いなさい。」と。

そして 先生の目を見て 発音一つ一つに留意して歌った私に

「そうそう！随分良くなったよ。」

と満面の笑顔でおっしゃった中村先生。

それが嬉しくて、クロンチョン、ダンドゥット、ブルース、R & B 、ポップスから好きな歌を選曲して猛練習して水曜日ラグラグ会にのぞむようになりました。

しかし、毎回のように相変わらずの厳しいチェック。 すこし凹みかけていたときでしょうか。

恒例の練習の後の打ち上げの帰り道に さりげなくこうおっしゃって下さいました。

「厳しくしてごめんなさいね。あんまりあなたが頑張っているの、その進歩に厳しくせざるを得ないんだよ。」

涙が出そうでした。

## 26. ソロライブへの後押し（投稿者：須永 紫）

インドネシアの歌手二人と日本人歌手二人で「Fantastic Four 」というユニットを組んで ミドリレストランに出演した時に 近藤さんご夫妻とスギちゃんが先生を連れて来て下さいました。

その時はにこにこ聴いてくださっていましたが 別日に 私にこうおっしゃいました。

「あなたにはあなたのスタイルがある。あなたは是非ソロでライブをやってみなさい。」

その言葉に背中を押してもらって インドネシアを離れる直前に Motion Blue で念願のソロライブを開くことが出来ました。その時も先生が沢山のメンバーの方々に連れられていらしてくださりました。終演後 私の手を取り

「良かったよ。特にインドネシアの歌が良かった。」と嬉しそうにおっしゃったこと

は忘れられません。

27. 最高のお守りのような言葉（投稿者：須永 紫）

もう一つ 私のお守りにさせて頂いている先生の言葉があります。

ラグラグ会のランチ会のときだったでしょうか。

突然 私にこうおっしゃったのです。

「あなたに言っておきたいことがあるの。」

ドキッとしました。きっと厳しいことをご指摘くださるんだらうなああと覚悟して先生の言葉を待ちました。

「あなたはね。溜息さえも歌にしてしまう稀有な歌い手さん。だからね、良い声出そうなんて思って 無理して変な声だしちゃ駄目だよ。」

上手く歌おうときばって かえって声がかすれることもしょっちゅう。そんな私に最高のお守りのような言葉を下さった中村先生。

尊敬の念と感謝の思いで一杯です。

これからも忘れることはありません。

28. バタック族の歌「Butet」 楽曲「Butet」(投稿者：小川 和美)

中村先生にバタック族の歌「Butet」を覚えたくて練習をお願いしました。「Butetはあなたのように苦勞をしたことがない人は歌えません。ご主人が戦争に行き、乳飲み子を抱え、今日の食べ物にも困ったことがありますか。ない人あなたには表現できない歌です。」数年してもう一度お願いしました。「あなたには合わない歌です。」中村先生はパーティーでソロを歌う時に私に合わない歌は教えてくれませんでした。却下曲「Aku Makin Cinta」グサンの「Sapu Tangan」 続きはまた。

29. 伴奏について (投稿者: 鎌田 慶昭)

ピアノ伴奏をしていた頃

→ 鎌田さんの伴奏は、気分が乗っている時とそうでない時とで大違いだね。聞くとすぐわかる。

30. ボイストレーニング① (投稿者: 鎌田 慶昭)

ボイストレーニング時に

→ もっと腹を引っ込ませて！翌日腹筋が痛くなるようではダメ。

息を少しづつ吐いても大きな声は出せる。そうすれば息が続くから。

31. ボイストレーニング② (投稿者: 鎌田 慶昭)

ボイストレーニングをしばらく怠った時

→ ちょっと声が出るようになるとすぐに慢心して努力を怠る(怒)！

32. もっと下品に 楽曲/Lagu「Tidak Semua Laki-lali」(Dangdut/ダンドウト) (投稿者: 鎌田 慶昭)

→ もっと下品に歌わなきゃ。

所詮日本人に Dangdut は無理だね。

33. やればやるほど悪くなる(笑) 楽曲/Lagu「Tanah Airku」(投稿者: 鎌田 慶昭)

Tanah Airku のアドリブをいろいろトライした時

→ やればやるほど悪くなる。最初普通に歌ってた時が一番マシ！

34. ずいぶんクオリティが落ちたね 楽曲/Lagu「Nasonang Do Hita Nadua」(投稿者: 鎌田 慶昭)
- 先生との最後のズーム練習で Nasonang Do Hita Nadua を久々に歌った後  
→随分クオリティが落ちたね (笑いながら)  
歌う前に拍手して下さったのが印象的でした。
35. それがポップの歌い方だ (投稿者: 鎌田 慶昭)
- 不思議と発音を直された記憶はあまりないです。  
その他、皆さんと共通しますが、歌う時の表情や、歌い方の注意は常々受けて  
ました。  
印象的なのは...  
言葉にアクセントを付けメリハリあるリズムカルな歌い方をしなさい。  
それがポップの歌い方だ。
36. 先生のコメントいろいろ (投稿者: 石川 礼子)
1. (私に対して)あなたは日本語が下手くそだねー
  2. (皆に対して)同じ歌を千回は歌わないと、モノにならない
  3. (確か、かなさんに)家族でも誰でも良いから、他人に歌を聞いてもらいなさい。  
3.は、その翌週に、人に聴いてもらおうと、人に聴かせることを意識するので、  
聴かせる歌が歌えるようになると仰った記憶があります。
37. “Air”の発音① (投稿者: 小川 和美)
- ご存知の方も多いと思いますが、私は「Air」の発音できません。中村先生は  
『ほらまた発音汚い。「Ae~~~r」じゃなくて「Air」誰にインドネシア語ならったのお  
手伝いさんじゃないでしょうね」と何回注意されてもなおりませんでした。

38. マイクを舐める感覚で色気を・楽曲/Lagu「Cinta」①(投稿者:小川 和美)

はじめてのパーティーでのソロ曲「Cinta」愛する男性とどこまでも一緒に行く、死ぬまで一緒にいると誓ったが裏切られる曲です。「愛する人を思い出す時はマイクを舐める感覚で色気を出す。最後のサビの部分 Cinta Oh~Oh~ Cinta は床にひれ伏して崩れなさい。」

39. 先生の辛口指導・楽曲/Lagu「Senandung Rindu」 「Sakit Gigi」(Dangdut/ダンドウト) (投稿者:和氣 太司)

近藤さん、皆様、senandung rindu、懐かしい曲です。2011 年末のパーティーで初めてのソロでした。練習を始めた頃、中村先生から「発音が駄目だね」と一言、u と e の違いなど意識していないレベルでしたので当然ですよ。それから、「感情がこもってない、masa lalu waktu kau masih di samping ku は、恋しい人が隣にいるという想いで歌わなきゃ」というご指導が心に残っています。

sakit gigi を中村教室で練習していた時は、「ダンドウトは最低の生活をしなきゃ歌えないよ」と言いながら教えて頂きました。「インドネシア人は優しいから、日本人のインドネシア語をわかったような顔をして聞いてくれるけど、本当は笑いをこらえながら聞いているんだよ」、先生から何度も言われた辛口の指導が懐かしいです！

40. 聞いているひとを意識して・楽曲/Lagu「Waktu Hujan Sore Sore」(投稿者:和氣太司)

続けて、最近のズーム練習では、waktu hujan sore sore の冒頭、「聞いているひとを意識して訴えかけるように」、自己陶醉気味なのを見破られた！？。それから、「もうこれから歌手を目指すわけではないんだから」、もっと余裕を持って歌いなさいという意味だと受け止めました。ラスカルプランギに挑戦しようとした時は、「もうそんな歌は合わないよ」、確かに若者の歌ですね。人を見る目が鋭かった中村先生です。

41. 先生が嫌いな歌い方 (投稿者:近藤 英文)

先生、自己陶醉型が本当にお嫌いでしたからね。

42. 私に合う歌・楽曲/Lagu「Tenda Biru」(投稿者:小川 和美)

思い出して一人で笑ってました。「中村先生、私に合う歌ありますか?」中村先生は「Tenda Biru」本の後ろの方のあるわよ。この歌の内容をご存知の方は笑えると思います。

43. もっと叫べ!・楽曲/Lagu「Benci tapi Rindu」(投稿者:鎌田 慶昭)

もう1つ。

Benci tapi Rindu のフィナーレ Tapi Aku Rindu~~の部分 もっと叫べ! もっと叫べ! と... 😊

44. 小むずかしい曲 楽曲/Lagu「Keabadian」(投稿者:郡 稔)

入会して間もない頃、2019年末のパーティーに向けてはじめて選んだソロ曲が KEABADIAN でした。中村先生は「小難しい曲を。」とおっしゃって、私の実力と選曲のギャップに呆れられた様子でしたが「続けてください」とおっしゃってくださいました。

45. 喉の調子を即座に把握 (投稿者:郡 稔)

Zoom での練習である時声が出にくいので表現を抑えていたところ、「ずいぶんあっさりしてたけど。」とおっしゃいました。別の日は、「そっち(メルボルン)へ行ってステーキでも食べたの?」とのコメントをいただきました。Zoomを通してでも私の調子の良し悪しを即座に把握されているご様子で恐れ入りました。

46. 優しいご心配 (投稿者: 郡 稔)

ジャカルタ INTILAND での練習後、先生をお送りする車中で「近藤さんあんなに頑張ってくれて大丈夫かな」と心配されていました。

47. 江利チエミについて (投稿者: 郡 稔)

Zoom 練習の最初の雑談のなかで、私がスイングジャーナル誌(日本で出版されていたジャズの月刊誌。今でもあるかもしれません。)の1954年版があります、と言いますと、先生はどんな人が出ているの?と尋ねられ、私が女性歌手の人気投票の1位が江利チエミであると言いましたところ、彼女は兄貴のところに居たんだが日本語の曲を歌っていた、とおっしゃいました。先生が17歳!の頃の話ですね。

48. ステージに向けて(投稿者: 郡 稔)

JJC 主催の2020年新年会の時のことです。出番が来て、ステージ中央になんとか並んで立とうとすると、「そっちじゃないよ。もっとピアノの近くに来て!」とのご指示。一つには会場の音響が悪い中でバラバラにならないことを考えられたと思います。また、男性と女性が分かれて整列する合唱の様なスタイルよりも、一人一人の個性をザクッと混ぜた様なグループの見せ方を考えられたのかなと思いました。

49. 先生との出会い・楽曲/Lagu「Widuri」「Sio Mama」(投稿者: 竹内 ロビー)

出会いは 2008 年の後半だったと思います。母の介護しながら生活をしていた私は心を打ち明けて相談できる唯一の人でした。ここではラグラグ会と中村教室の今思い出していることを話します。タムリン通りに有った JAC の会議室で練習してました。その頃から渋滞はすごくて集まりが悪くなり先生を入れて 2~3 人となった時、ひとりで歌ってみなさいと指名され、うろ覚えだった WIDURI を歌おうと伴奏から一拍おいて入ることがなかなか出来ず、また声もうわずって

まともに歌えませんでした。でも先生は歌い続けていけば歌えるようになるよと諭すように仰いました。もう少しうまくなりたいと思い、その頃週2回先生の自宅 (buncit indah) で個人レッスンがあると聞き参加しました。そこで発声が悪いと、つまり肩で息をするのではなくお腹でして、口を大きく開け、体全体から声を出せと教えて頂きました。何回かする内に自分で自分の声に驚きを覚えました。その後先生からあなたはお母さんの血流れているのだからアンボンの歌を歌いなさいと「SIO MAMA」を教えて頂きました。今私のレパートリーの一曲です。

50. “Air”の発音②・楽曲/Lagu「Keroncong Tanah Airku」(投稿者:小川 和美)

\* Keroncong Tanha Airku \* 勇気を出して中村先生に Keroncong 練習したいとお願いし、珍しく却下なく、先生に歌を選んでいただき、先生のピアノで曲を覚えました。聴かなければよかったのですが、Sundari Soekotjo の CD を聴いてしまいました。

中村先生「あなた誰に歌教えてもらったの？」

小川「Sundari Soekotjo の CD 聴きました。」

中村先生「ピアノで Keroncong を歌うのは限界がある。だから私が一小節ずつ教えてます。Sundari Soekotjo ではなくて小川和美の歌を歌いなさい。」

この言葉はラグラグ会メンバー誰もが中村先生から浴びせられた言葉ですね。それ以来忘年会のソロ曲は CD・Youtube を聴かず、古いキーボードで曲を覚え、先生のレッスンに望みました。私の「Air」の発音が悪いのは Gesang の Bugawan Solo を聴きすぎました。決して次の Youtube は聴かないで下さい。中村先生と一緒に帰宅した時、Gesang の歌をきいて発音について語ってました。もし、グサンがラグラグ会の練習で参加したら、中村先生は発音なおすのかしらね。

51. 歌詞を暗記して(投稿者:近藤 英文)

いつも中村先生に言われていたのが「歌詞を暗記して、下(楽譜)を見ないで、し

っかり前(お客様の方)を見て歌ってください！」でした。

52. まずは音程通りに歌えること(投稿者:近藤 英文)

私も数年先生の個人指導を受けさせて頂いていつも言われていたのは「個別のアレンジよりもまず音程通りに歌えること」でした。基準となるメロディーにズレずに歌うことがまず第一で、正しい発音と音程がズレないことでお客様を感動させられる、と。

アレンジはそれから、とおっしゃって居ました。

「音程」は音程だけでなく、メロディーとリズムが含まれていたと思います。つまりオリジナルの楽譜通り、と言うことですね。

53. 演歌調に歌わない(投稿者:近藤 英文)

いま久しぶりに歌の練習始めて思い出しました。むかし中村先生だけでなく鎌田さんにも指摘頂きましたが、なるべく「演歌調に(フニャフニャ)歌わない」というのがありました。

54. 先生の天才的閃き演出・楽曲/Lagu「Nina Bobo」「Sarinande」(投稿者:鎌田 慶昭)

2010年、私が2度目のジャカルタ生活を始めた年でした。

Sarinande をロック調で歌ってみたいという私に先生がご指導下さったのが、先生の個人レッスンの始まりでした。

その年のパーティーで、私はソロデビューこの歌を歌うことになったのですが、パーティーの前日、先生は Nina Bobo から始めて Sarinande に入りなさいと突然言い出しました!!

そして Sarinande を 1 コーラス歌った次は、突然「サーリーナンデッ!!」とシャウトしてアドリブ編に入るんです(これはずっと練習してました)。

「Sarinande を」と言っ て Ninabobo を 歌い出した私に、聞 いてる人達 はハラハラ、ザワザワ...

と、突然 Sarinande が始まったと思ったら、次は絶叫アドリブ Sarinande!!

とにかくバカ受けで、パーティーの後、ソロで歌った皆から「鎌田に全部持って行かれた」と言われました (ロビーさん覚えてくれますか?)。

とにかく先生の閃き演出は天才的としか言いようがありません!!

お陰で本当に良い思い出を頂きました♪😊

55. 語尾の発音・楽曲/Lagu「Tanah Airku」(投稿者:伊藤 加奈)

”Tanah Airku”の”Tanah”などの語尾の h の発音に気を付けること。

1 番の歌詞の最後の”Hargai”の”ga”は、あまり強くしないように優しく歌う

2 番の最後の”Kubanggakan”の”kan”は最後の n を上あごの裏にくっつけて早めに切ること。

→ カーンではなくて、”カン”

56. ”kita”の歌い方①・楽曲/Lagu「Satu Nusa Satu Bangsa」(投稿者:伊藤 加奈)

”Satu Nusa Satu Bangsa”の中の 1 フレーズ”Satu bahasa kita”の”kita”の部分について、中村先生の歌い方では、いつも”kita”の前を少し溜めて小さくそつと歌うように指示されます。”kita”の前に八分音符がある感じです。

鎌田さんがジャカルタにいらっしゃる頃、ジャカルタジャパン祭りでラグラグ会が”Satu Nusa Satu Bangsa”を披露したことがあり、上記の中村先生の教え通りに歌ったところ、曲の途中にもかかわらず、”kita”の少し後に会場から小さなどよめきが起こり、それから怒涛のような大きなどよめきとなり拍手へ変わっていったそうです。

この部分、私達日本人は流して歌ってしまうところですが、インドネシア人には”kita”には特別な思いがあるようで、日本人がその大切さが伝わるような歌い

方をしたことに対するインドネシアの人々からの感嘆の声だと気づき、鎌田さんはその時大変感動されたそうです。

鎌田さんより「先生も歌っている私たちもウルウルでした😁」とのことでした。

57. “kita” の歌い方②・楽曲/Lagu「Satu Nusa Satu Bangsa」(投稿者:小川 和美)  
 (“kita”の部分は)頬つぺたに人差し指をおき、八分音符の間をとり、Kita の時可愛く首を傾けるといい感じに歌えます。笑

58. 相手に話しかけるように(投稿者:近藤 英文)

歌にもよると思いますが、よく先生は「相手に話しかけるように歌う」とおっしゃっていました。

59. 悲しい歌も明るく歌う(投稿者:伊藤 加奈)

先生は悲しい歌の時も「明るく歌うように」と仰っていました。

60. Zoom レッスンでの思い出 サビの歌い方(投稿者:沢 亜希子)

zoom 上でレッスンを受けているときの中村先生の思い出といえば、

「はい、次、あっこちゃーん」

と言う呼びかけと、歌い終わった後は

「いいよー。バグース👍」

というお言葉。

そして、サビの後半部分は感情をもっと表に出すこと！

と言うアドバイスです。

まりりんの送別会で zoom で参加したときは

「あっこちゃん、韓国の歌、歌ってくれるんじゃないの？」  
と無茶ぶりされた事もいい思い出です。

61. 輪唱のアレンジ・楽曲/Lagu「Sio Mama」(投稿者:小川 和美)

3名で「Sio Mama」を歌う時に先生が”輪唱”で歌うアレンジをされました。そのアドリブが素晴らしいと思いました。

62. いきなりのアレンジ(投稿者:沢 亜希子)

楽譜通りに歌うと「つまんない」と言われ、いきなりメロディーを変えられたり、拍子まで変えられたことも。

でも、それがうまく曲にマッチしていて、先生は流石だなと思いました。(無茶振りもたまにありましたが(笑))

今まで楽譜通りにしか歌えなかった私に、アレンジをするきっかけを作ってくださいました。

63. 先生の好きな食べ物(投稿者:沢 亜希子)

先生はいつも食が細く、練習後の食事でもお茶以外はほとんど召し上がっていませんでした。

でも、一度ランチで「Bebek bengil」を食べに行った時、あの食の細い先生がアヒルの骨しか残っていない状態まで綺麗に召し上がっていて、すごくびっくりしました。

また、zoom をやっている時に「今一番食べたいのはかんぴょう巻き」とおっしゃってました。

64. 先生の散骨① 楽曲/Lagu「Satu Nusa Satu Bangsa」(投稿者:近藤 英文)

(2020年12月17日、アンチヨールから船で、近藤英文さん、石川礼子さん、

Merry Oktavia さんのみなさんが中村先生の散骨へ参加されました)<sup>2</sup>

先生にお別れの言葉を述べてから骨壺を海に捧げ、その後灰を海に撒かせて頂いて、その間ラグラグ会の3人で”Satu Nusa satu bangsa”を歌って、先生と最後のお別れをしました。天候も良く、無事に先生の散骨が出来ました。この場をお借りして、皆さんと先生にお礼を述べさせて頂きたいと思います。

65. 先生の散骨② 楽曲/Lagu「Satu Nusa Satu Bangsa」(投稿者:石川 礼子)

散骨の時に、皆で”Satu Nusa Satu Bangsa”を歌いました🎵

先生、喜んでくれたかな～😞

こちらの風習に従い、近藤さんが骨壺に入った遺灰を海に壺ごと沈め、袋に入ったお棺の灰をメリーちゃんが流しました。歌を歌いながら、少しのお花も一緒に流しました。

66. 先生のご遺品 (投稿者:近藤 英文)

中村先生の遺品のスピーカーやキーボードをインティランドに置かせて頂くことになりました。

久しぶりにこの教室に来ました。

先生のピアノは、後日調律されて教会に移動することになりました。

先生のバティックの多くは、長年先生の面倒を親身に行なってくださった運転手さんご家族に贈られることになりました。

今週の土曜に Budiman さんと言う日本語キリスト教会の方が中村先生のお部屋の最後の片付けをして頂き、中村先生のお宅と中村教室のお部屋は幕を閉じることとなります。

---

<sup>2</sup> 編者追記

67. じゃかるた新聞 2002年6月12日版 “ダンドゥット歌う中村征夫さん「心が伝わる歌を」”より①(投稿者:石川 礼子)

私はチンドン屋。自分でそう思っている。

例えば、ラグラグ・パーティで、こっちがガチャーンとフォークが落ち、あっちで子供がギャーギャー言っている、そういうのがまったく気にならない。そういう中でやるのが楽しいね。

私は歌手じゃないから、頼まれて出演しても報酬は受け取らない。

みんなでガヤガヤ歌ってもしょうがない。お土産にインドネシアの歌を持って帰るなら、自分のスタイルで歌えるようにならないと。

どういう生き方をしてきたか、それが、歌い方に表れる。声には心があるから、下手でも、音痴でも、その人なりの歌い方がある。

発声練習、大嫌いだし、やらせない。自分が今持っている声で、どう表現するか。日本人にはやる方も聞く方も技術にこだわり、表現に欠けている。

音符通りに歌ってもバカみたい。下手でも、心が伝わると、和む。

役に立つことをやりたい。インドネシアの歌をインドネシア人の前で歌って喜んでもらえるなんて、まんざらでもないな。

これまではのほほんとしていただけ。こんなこと、自分でできるとは気が付いていなかった。本当に楽しいね。ここに来て、いろんな幸せを感じている。

68. じゃかるた新聞 2002年6月12日版 “ダンドゥット歌う中村征夫さん「心が伝わる歌を」”より②(投稿者:石川 礼子)

ダンドゥットは生活そのものを語るから、歌っていて身につまされる。思っていること、言いたいこと、全部吐き出す。ストレス解消、鬱憤晴らしになる。

貧乏を表現する歌が好き。自分がそう、出が出だから。貧乏な歌詞が自分に合っている。

それから、神様の歌を必ず歌う。すさんだインドネシアだから、心を落ち着ける

ために。特定の宗教に所属していなくても、神を信じるのは大切なことだと思っている。

69. 「思い込みが激しいからなあ」(投稿者:田口 重久)

2020年にFacebookのラグラグ会からZoom練習会に誘われ、中村先生が亡くなるひと月くらい前に古い曲を披露したところ「田口さんは思い込みが激しいから」と。そのとおりです。歌には人生が出てくるものなのですね。この練習会ではレジェンドと呼ばれています。フォーシル(化石)でなくてよかったと安心しています。私の歌の後「大先輩の歌をよく聞いておきなさい」とおっしゃっていましたが、これが誉め言葉であったのかどうかは未確認です。

中村先生に初めてお会いしたのは2000年頃にプレジデントホテルで行われたラグラグ会のパーティーでした。満席だったのに主宰されていた旧知の小山さんに頼み込んで無理やり入れていただきました。席上、バンド演奏が一巡したあと、中村先生がリクエストを求めましたので奥の席から大声で「Sakit Gigi」と。演奏が始まるとステージ前に飛び出して踊り出したところ日本人やインドネシア人入り乱れて踊りを楽しんだ思い出があります。この後、数年間ご無沙汰していましたが、再会した時に名前を憶えていただいたのに感激しました。

～あとがき～

あの細いお身体のどこにあれだけのパワーがあるのか、レッスンが始まると途端に元気になられて、いつも愛情たっぷりご指導してくださった中村先生。

先生の歯に衣着せぬ言い方には毎回驚きの連続で、特に男性陣への辛口のご指導には驚きを通り越して笑ってしまう程でした。(詳細はこの中村語録にたっぷりと掲載されています)

今回編集に関わらせていただき、皆さんから寄せられた先生のご指導とエピソードをじっくりと読んでいくうちに、私がはじめてラグラグ会の見学に行った日のことを思い出しました。

2019年3月。

インティランドタワー1階にあるスターボックスの前で、足を組んでちょこんと座っていらっしゃった先生。

ゆかりさん(元 ASEAN 大使夫人)にご紹介いただきご挨拶したのですが、ジャカルタに来て、中村先生のようなご高齢の日本人に今までお会いしたことがなかった私は、最初とてもびっくりしたのを覚えています。

19階に上がってレッスンが始まると、先生はハキハキした声で、耳も目もなぜか急に良くなり、バシバシと辛口指導が始まったことに再度びっくり。

そして、楽譜をお借りしてはじめて聴いた曲なのに、いきなりみんなの前で一人づつ歌わされたことに、またまたびっくり！

とにかく、ここ最近味わったことのなかった、いい意味での「衝撃」が走り、それ以来、私は中村先生の一風変わった緊張感のあるレッスンにすっかりハマってしまったのでした。

私自身は、そこまで先生に怒られた記憶はないのですが(それがちょっと寂しくもあります)、今までクラシックを勉強していた事もあり、楽譜通りに歌う私の歌い方は、先生にはつまらなく聞こえていたようです。正しい発音のご指導はもちろんですが、聴いてくださる方を飽きさせない様に、楽譜にはない大胆なアレンジをする大切さを

私に教えてくださった先生には、感謝の気持ちでいっぱいです。

30年間にわたり、ラグラグ会で歌唱指導をしてくださった中村先生。

「中村語録」には、この先もずっと受け継いでいきたい先生のお言葉がたくさん詰まっています。

先生の貴重なお話を提供してくださった皆さま、本当にありがとうございます。

沢 亜希子

+++++

私は2019年の9月に初めてラグラグ会に伺い、中村先生のご指導を見学いたしました。そのため、先生には1年と少しの間しかご指導いただくことが出来ませんでした。先生のお言葉は一字一句はっきりと思い出せるほど、今も私の心に残っています。

中村先生のご指導は、手取り足取り分かりやすくというものではなく、インパクトのある言葉をバチンと打ち込んでこられるような印象でした。一瞬どうしたらよいか分からず、禅問答のような感覚を覚えることもありましたが、たくさん歌い重ねるうちに「あーそういうことだったのか」と理解に達した時には、その教えが深く心に刻まれていました。

「顔がダメー！もっと笑顔で」「ご家族や誰でも良いので誰かに向かって歌うように」

先生のご指導で一番ご指摘があったのはインドネシア語の発音ですが、次に多かったのは「自分だけで歌わずに、聴き手のために歌う」ということでした。聴き手を意識出来るようになると、自然に感情を込めることも出来るように感じます。

私はよく先生から厳しいお言葉をいただきましたが、たくさん練習した時など褒めてくださることもあり、そんな時は本当に嬉しかったものです。

古来より言葉には魂が宿るとも言われますが、この語録を開けば、中村節そのままに、生き生きとした先生の言葉達が蘇ってくる、そんな1冊になることを願っています。

最後に、貴重な先生のエピソードをお寄せくださったラグラグ会の皆様、心より感謝申し上げます。

伊藤 加奈

### 中村先生のお手紙

このお手紙は、近藤英文さんが、先生からの 10 年間のご指導の中で共通する内容が多いことに気付かれ、「先生がいつも教えてくださっている事をお手紙の形にされませんか？」とご提案されたことがきっかけとなり、ラグラグ会の Facebook に 2020 年 5 月 5 日に掲載されたものです。

その時すでに先生は手に力を入れることが出来なかったため、近藤さんがパソコンで代筆をされました。

ラグラグ会の皆さんへ、

こんにちは、中村です。皆さん、いつもありがとう。今日は私の皆さんに対する気持ちをお伝えしたく、ここに筆を取りました。

私はいつもラグラグ会の皆さんのことを考えてしまいます。

皆さんが人前でどのように歌えば個性を充分に出して楽しく歌うことができるのか。皆さんの歌を聴いて多くのお客様が笑顔を浮かべ、そして皆さん自身をも楽しませることができるのか。皆さん一人一人の顔を思い浮かべながら、いつもそんなことばかり考えています。

私は皆さんの成長を心から楽しみにしています。

私が言いたいことは、是非、私が教えたことをしっかり練習して、そして人前でハツラツと歌って頂きたいということです。ラグラグ会なら五人も集まれば充分人前で歌えます。

ただ、人前で歌うことには責任があります。

ラグラグ会はインドネシアの国歌も歌います。国歌はきちんと歌わなければ失礼になります。そして皆さんは、私がそうだったように、インドネシアや日本を代表する方々の前で歌うことになります。だから本当はお酒を飲んで酔って人前で歌わない方が良いでしょう。

しっかり練習して準備して、決して自己陶醉せずに、自由に人前で歌って来てください。

その時に、自分が楽しむことも重要ですが、まずお客様を気持ちよくしてください。お客様を楽しませてください。どうしたらお客様が楽しんで頂けるのか。答えの一つ目は「日本人がインドネシアの歌を正しい発音で歌う」こと、そして二つ目が「笑顔と豊かな表現力でお客様を楽しませる」ことです。ラグラグ会はインドネシア人のメンバーもいますが考え方は同じです。

の歌をインドネシア人のメンバーから正しい発音を学んでください。そして日本人は正しい発音で歌ってください。インドネシア人のお客様と一緒に歌ってください。それで多くのインドネシア人が感動してくださいます。それを見て皆さんご自身や日本人も感動し感激することになります。それを実感してください。楽しんでください。

ラグラグ会は本当に素晴らしい会です。素晴らしい主旨と目的と使命を持っています。私が人生を捧げるに値する会だと思いました。是非ラグラグ会の主旨である「正しい発音と文化を学ぶ」ことの意義の重要性を深く理解してください。他では知ることができない、得ることができないことです。

私が皆さんにお願いしたいこと、お伝えしたいことは以上です。これからもラグラグ会を通してご自身が人生を楽しみ、そして多くの方を楽しませてきて頂きたいと思います。皆さんのこれからの末長い幸せと成長を、こころより楽しみにしています。

2020 年吉日

中村征夫

## Mr. Kus Swadie へのインタビュー

このドキュメントは「中村語録」を作成するにあたりメリー・オクタビアさんが直接、中村先生の親友でありプロピアニストのクスさん(Mr.Kus Swadie)に直接インタビューした内容をまとめたものです。皆さんの知らない生前の中村先生的一面や、ラグラグ会を長年にわたり支えてくださったクスさんの活躍をお楽しみください

## Kus Swadie クス・スワディー

(1997年より中村教室でピアノ伴奏者としての活動開始)



1997 ~ 1998

当時、中村さんは北のカリバタに住んで、チャワンで働いていました。

ラグラグ会の練習室は JJC の会議室、スカイライン・ビルディングの 4 階

毎週の月曜日、18 時半から 22 時ごろまで、インドネシアの歌の発音を教えたり、会員のピアノ伴奏していました。

a. インドネシア語の言葉の使い方や発音、インドネシアの歌の歌い方を教えて

いました。インドネシア語の発音の中で特に A, U, M などの発音を多く教えていました。

- b. ラグラグ会の皆さんの伴奏をピアノやバンドで行っていました。1998 年に サリー・パン・パシフィック・ホテルでのラグラグ会のパーティーで、ピアノ伴奏者として初舞台参加しました。当時、中村さんは 1 回のパーティーで 5~7 曲をソロで歌っていました。
- c. ラグラグ会の楽譜の作成の際に音符とコードを記入することなどで手伝いました。
- d. 楽譜に載ってるすべての歌のピアノやキーボードでの伴奏をテープや MP3 形式で録音しました。当時はテープの時代でしたので、テープに録音しました。今はもうそのテープのうちの多くは壊れてしまいました。

中村さんと JJC のサポートのおかげで、日本の横浜に行くことができました。

- 2001 年、サイトウさんの招待で、横浜に行くことができました。
- 2011 年、サイトウさんの招待で、横浜に行って、東京も行き、東京にも行って東京ラグラグ会に参加し、皆と一緒に歌ったことがあります。

中村さんの生徒は十数人いました(男女合わせて)。

- こやまさん Pak Koyama
- いとうさん Pak Ito
- くろおかさん Pak Kurooka
- はっとりさん Pak Hattori
- かまたさん Pak Kamata
- たかこさん Ibu Takako (Jakarta Japan Club)

など。

エンターテインメントのプロ世界では、

- 中村さんはインドネシア人のプロ歌手と同じイベントに出たことがあります。

(Rhoma Irama, Titi DJ、など)

- 中村さんは TVRI というインドネシア国営テレビ局のインタビューを受けたことがあります。

中村先生の家で撮った中村教室の写真



ヒルトンホテルで撮ったラグラグ会の写真



サリー・パン・パシフィック・ホテルで撮ったラグラグ会の写真





## 故中村征夫氏アルバム

(ラグラグ会のメンバーから寄贈された写真)

